

## 『補助金等の交付により造成した基金等に関する基準』等に基づく公表資料

## 1. 基金の概要（平成27年度）

基金の名称	異常補填積立基金
法人名	公益社団法人 配合飼料供給安定機構
基金額（国庫補助金等相当額）	43,262百万円（26,890百万円）（平成27年度末現在（見込み））
基金事業の概要	配合飼料価格の大幅な変動が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、民間が実施している通常補填のみでは対処し得ない異常な価格高騰時に、通常補填金と併せて異常補填金を交付する。

## 2. 見直し結果（平成27年度）

項目	講ずる措置
実施した見直しの概要	○ 国の「配合飼料価格安定対策事業実施要綱」においては、「補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）」に基づき、事業終期を平成27年度としていたが、本基金の発動指標である配合飼料の輸入原料価格は、穀物の国際相場や為替相場の変動を受けるものであり、価格の高騰に対して補填を実施する本事業は、畜産経営に及ぼす影響を緩和するために、平成28年度以降も必要であることから、平成37年度まで事業終期を延長することとした。
基金事業を終了する時期	○ 本事業の実施期間は平成37年度までとする。
次の見直し時期	○ 次回見直しは平成32年度までに実施する。
基金事業の目標	○ 平成22年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標（平成32年度）である生乳800万トﾝ、肉類316万トﾝを達成することを目標とする。
目標達成度の評価	平成26年度実績で9割以上と概ね達成している。 ( 生乳733万トﾝ 達成率91.6% ) ( 肉類325万トﾝ 達成率102.8% )
基金の保有割合	○ 算出した保有割合は、0.48であった。算出に用いた方式及び数値については、以下のとおりである。
基金の保有割合の算出	(算出に用いた方式) 保有割合＝平成27年度末基金額（見込み）÷異常補填額 ＝43,262百万円 ÷ 90,010百万円  (算出に用いた数値) 平成27年度末基金額（見込み）：43,262百万円 （平成24年度の通常補填基金への貸付残高18,741百万円を除く。） 異常補填額：90,010百万円 （平成18年度第4四半期から平成20年度第3四半期までの補填実績額）
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果（※）	使用見込みの低い基金等の該当の有無 無 〔有の場合〕該当する理由 — (使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果) —
その他	—

（※）「補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）」の3（4）エに基づき検討した結果は、「使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果」欄に記載する。